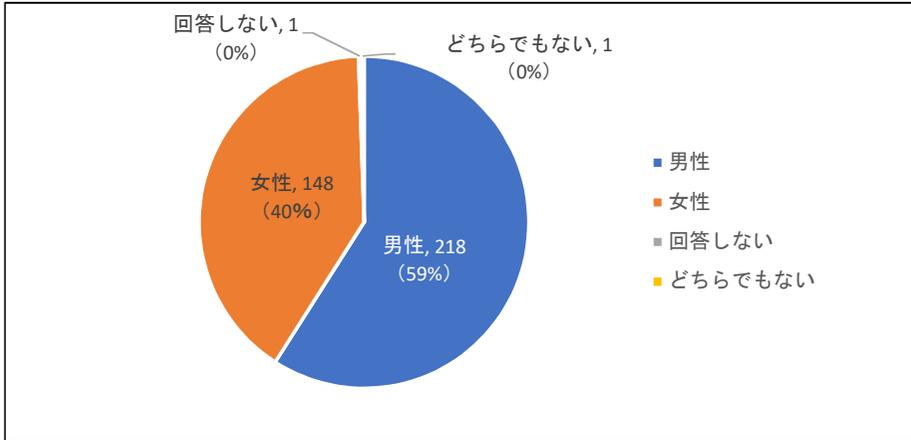
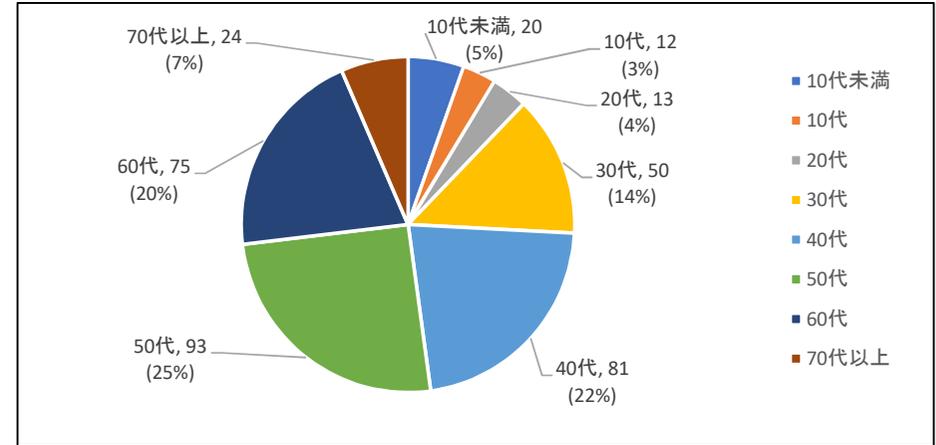

アンケート結果（試乗された方）

項目ごとの回答結果概要 (1/6)

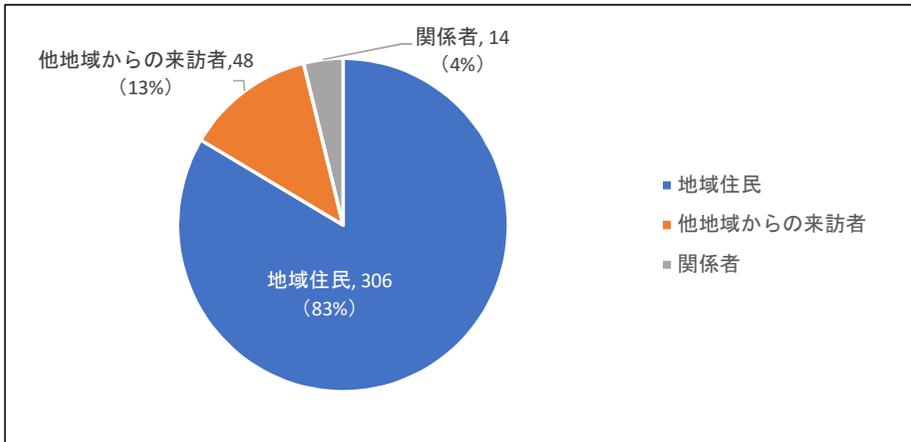
Q1.あなたの性別を教えてください



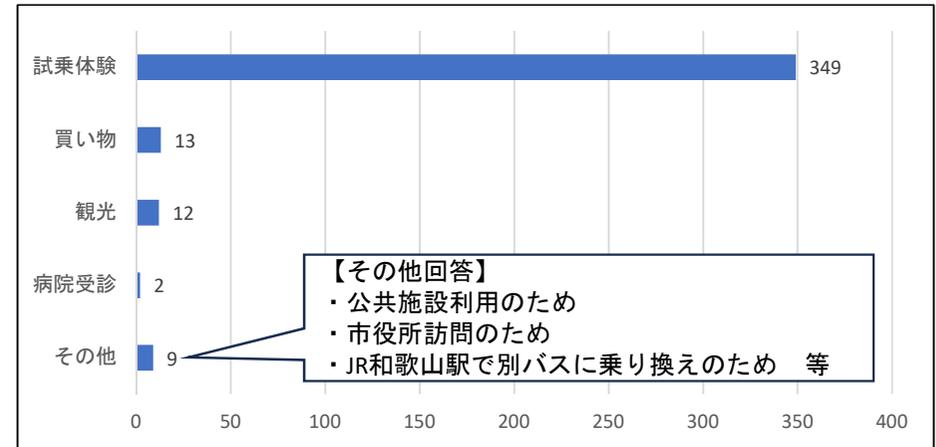
Q2.あなたの年齢を教えてください



Q3.あなたの属性を教えてください

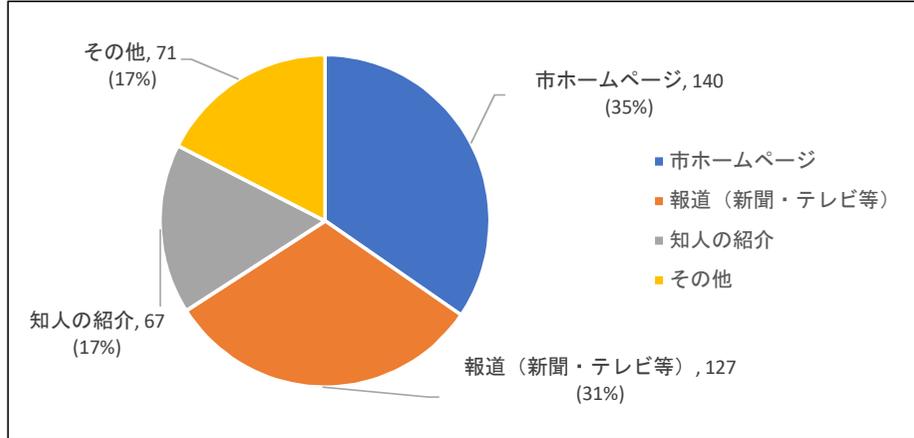


Q4.本日の利用目的を教えてください (複数回答可)

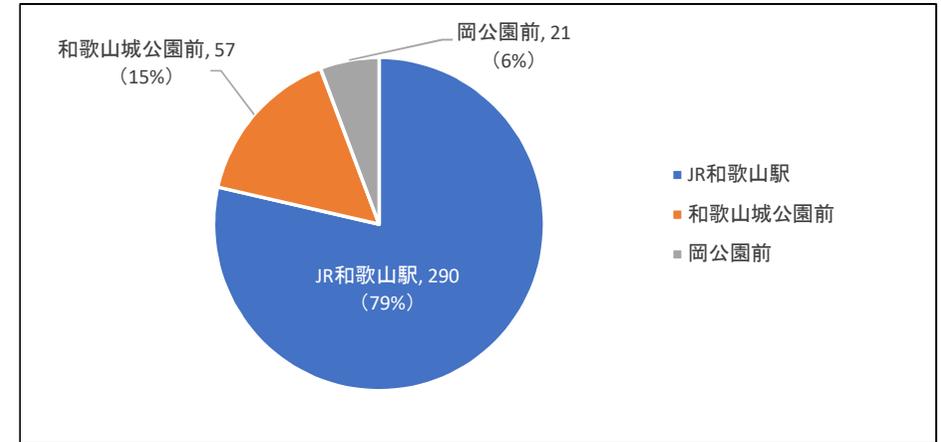


項目ごとの回答結果概要 (2/6)

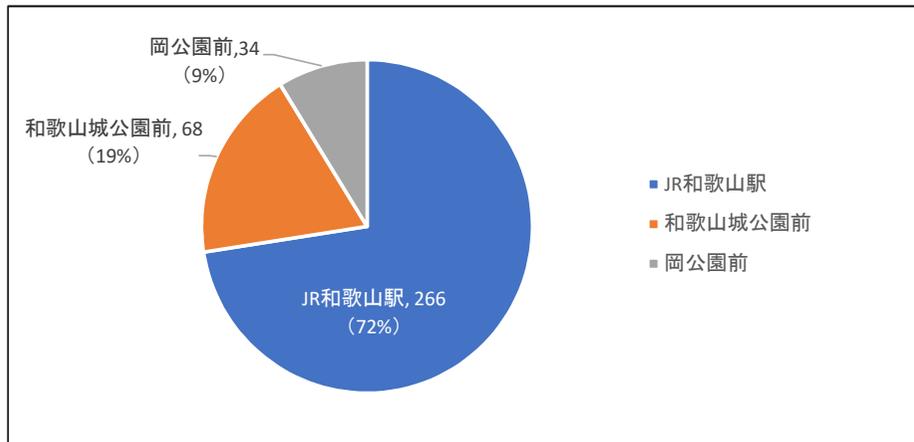
Q5. 今回の実証実験を何で知られましたか。(複数回答可)



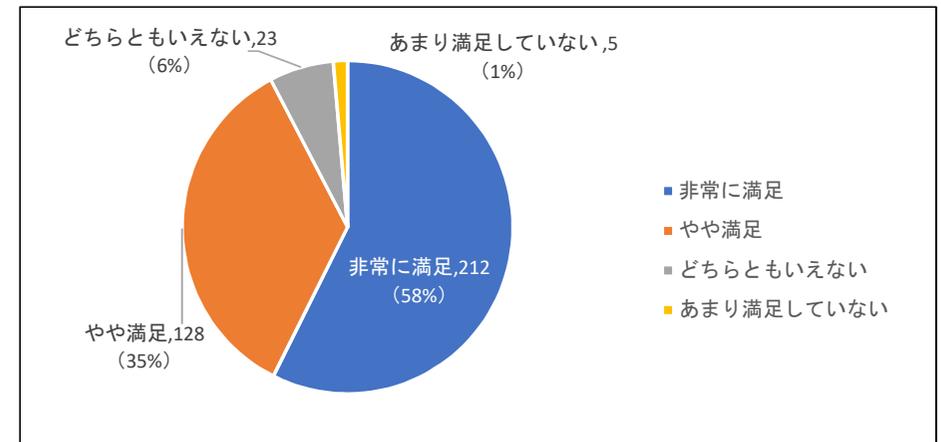
Q6. 乗車されたバス停はどちらですか



Q7. 降車されたバス停はどちらですか

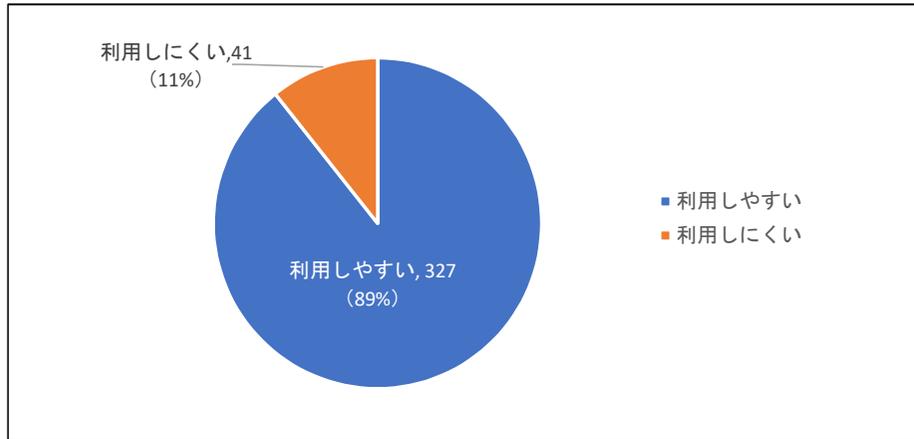


Q8. 実際に利用したルートへの満足度を教えてください

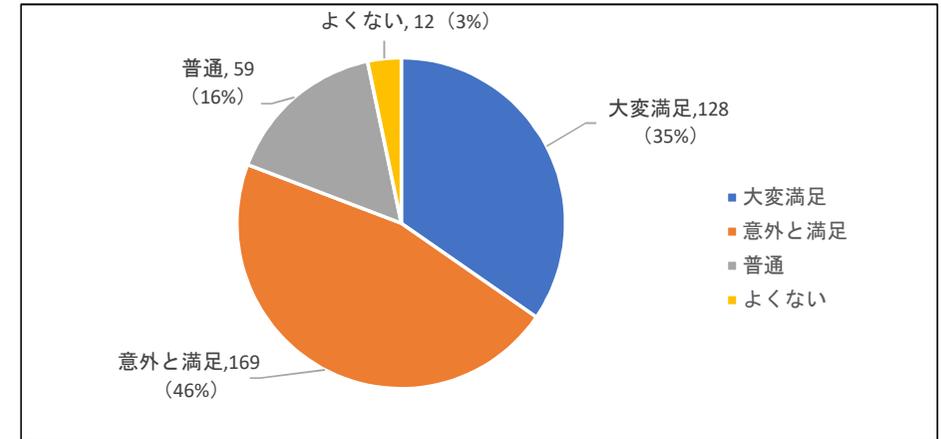


項目ごとの回答結果概要 (3/6)

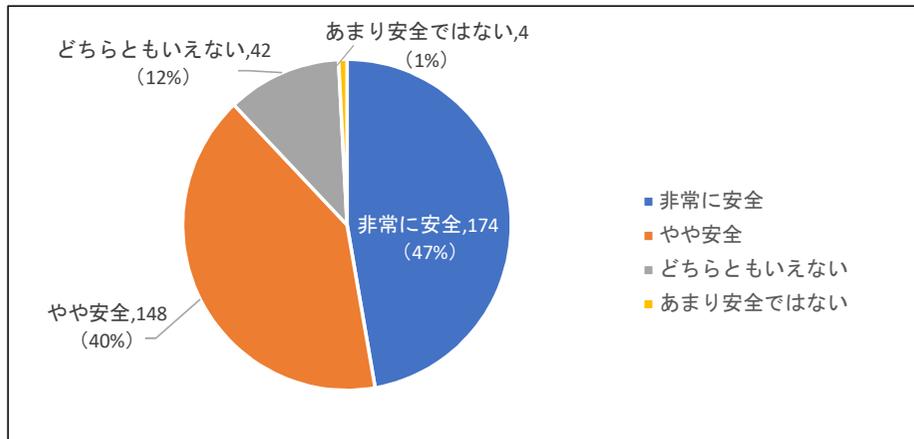
Q9. 停留所の位置は日常的に利用しやすいですか



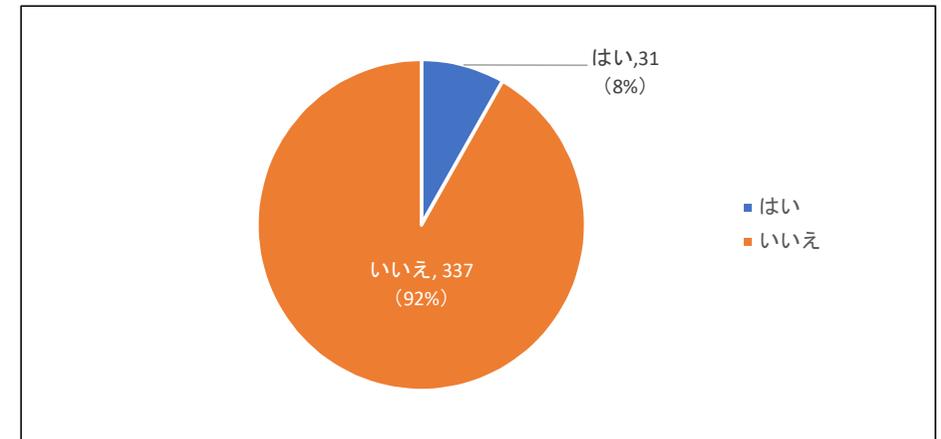
Q10. 乗り心地はいかがでしたか



Q11. 乗車中、安全性をどの程度感じましたか？

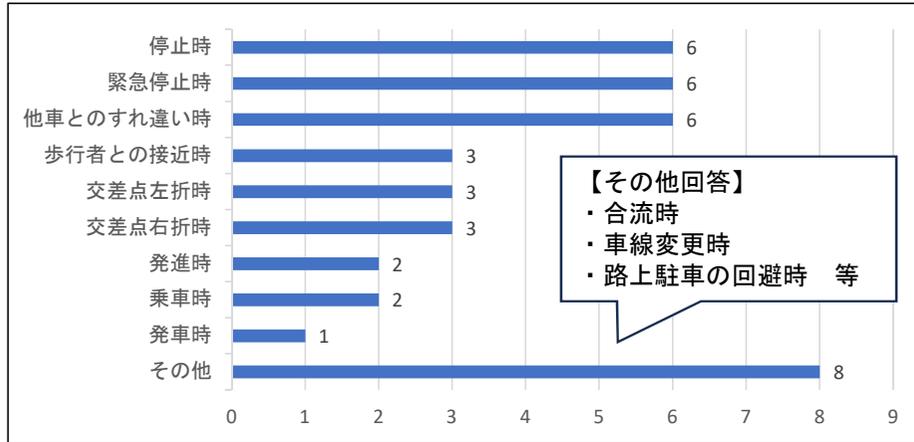


Q12. 乗車中、危険を感じた場面はありましたか

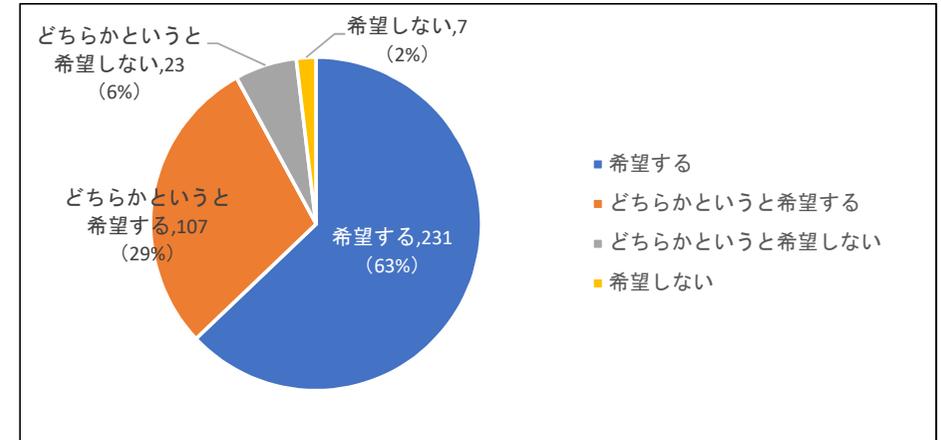


項目ごとの回答結果概要 (4/6)

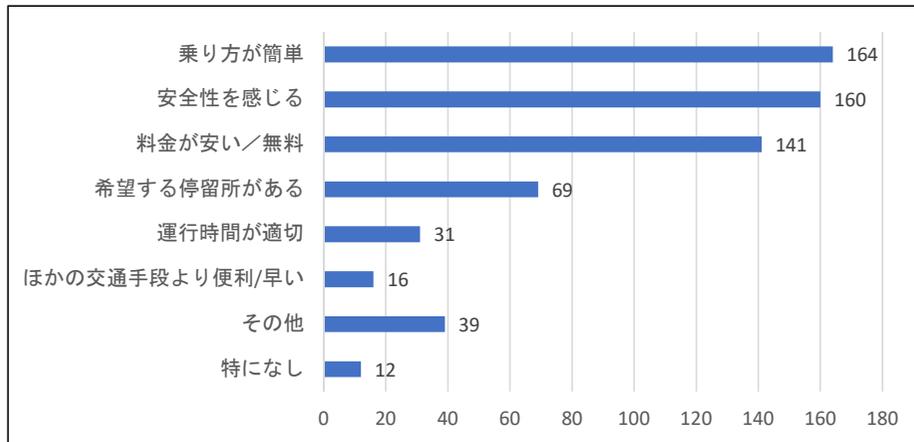
Q13.危険を感じた場面を教えてください (複数回答可)



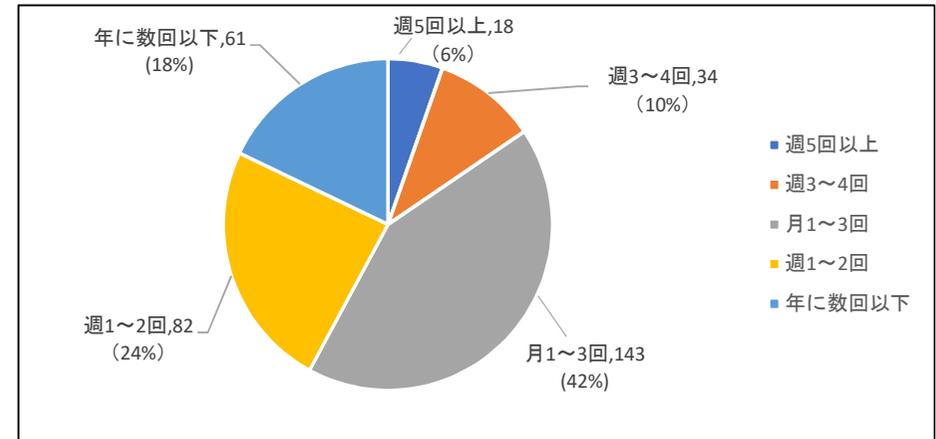
Q14.本日乗車した自動運転バスを再度利用したいと思いますか



Q15.「希望する」「どちらかという并希望する」の理由 (複数回答可)

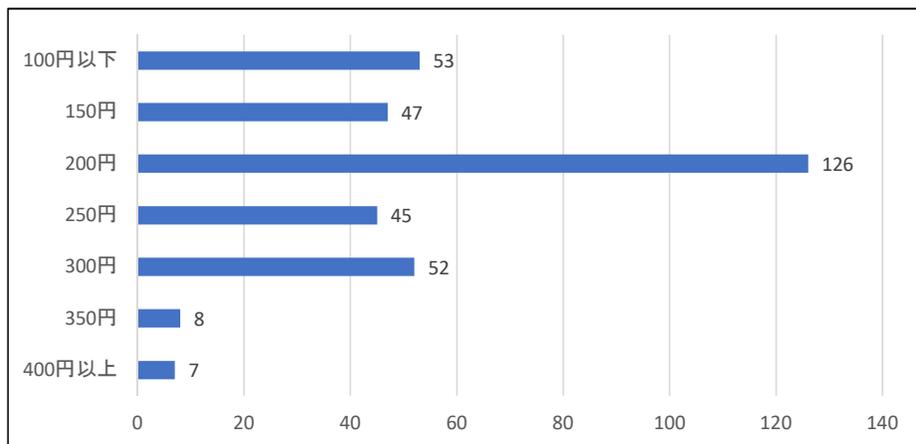


Q16.「希望する」「どちらかという并希望する」の場合、想定利用頻度を教えてください

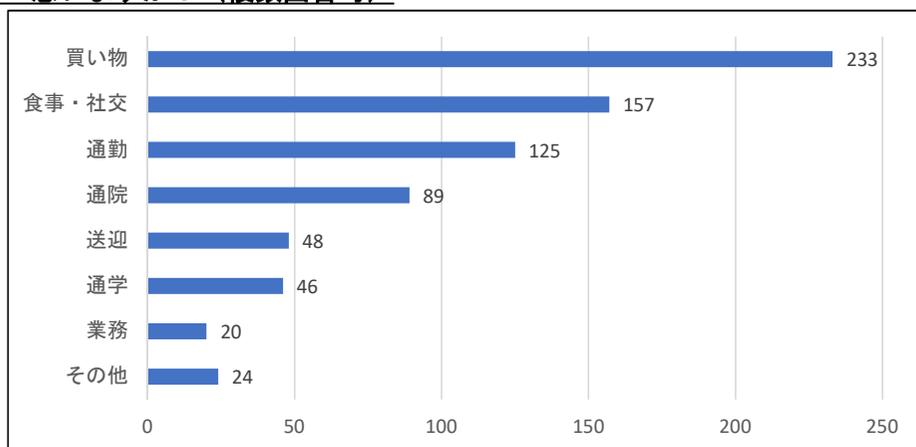


項目ごとの回答結果概要 (5/6)

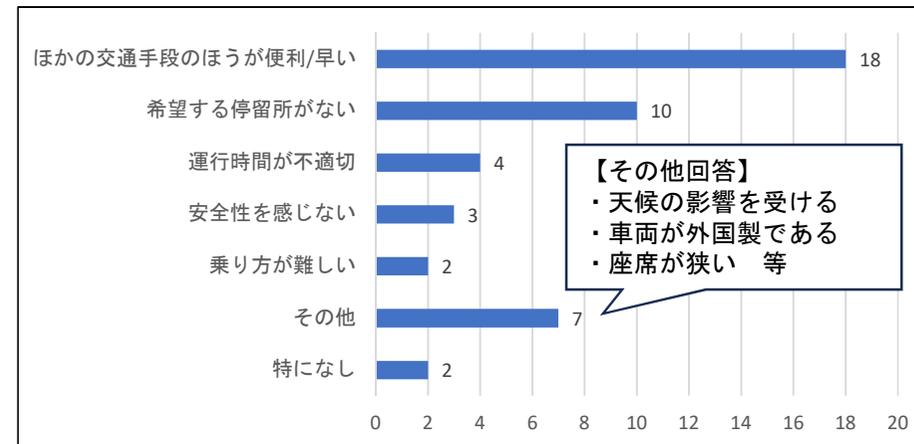
Q17. 「希望する」「どちらかという希望する」の場合、1回の利用について、運賃はいくらまでであれば支払うことができますか



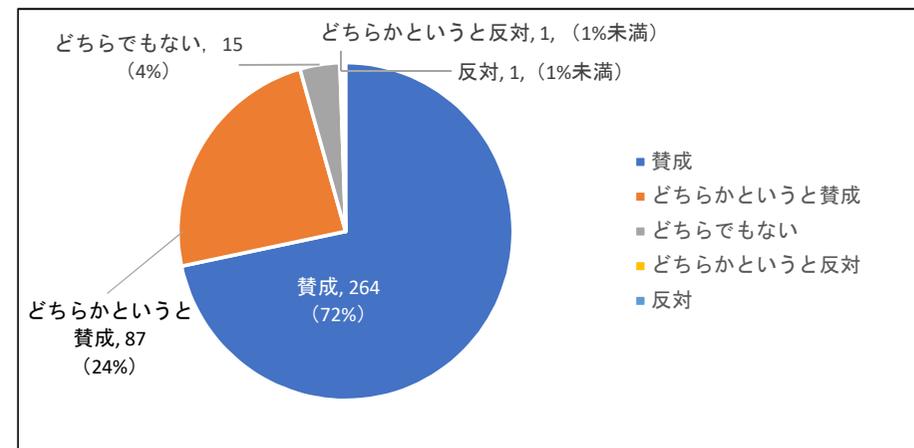
Q19. 将来的に自動運転バスが普及した場合、主にどのような移動に利用したいと思いますか？ (複数回答可)



Q18. 「希望しない」「どちらかという希望しない」の理由 (複数回答可)

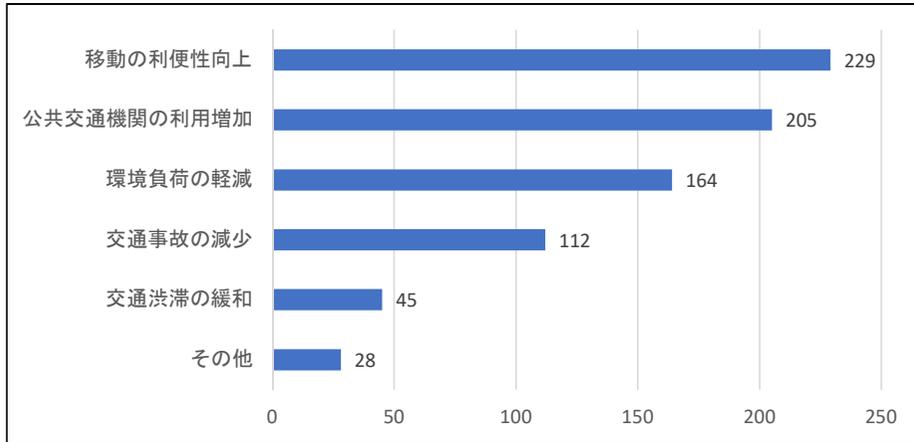


Q20. 自動運転バスが市内で運行されることについて、どの程度賛成ですか

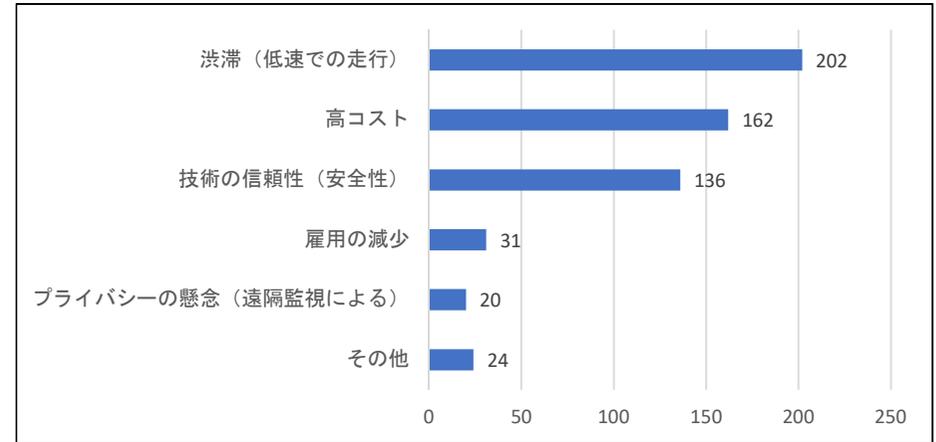


項目ごとの回答結果概要 (6/6)

Q21.自動運転サービスが普及することで、どのようなメリットがあると思いますか（複数回答可）



Q22.自動運転サービスが普及することで、どのようなデメリット（懸念事項）があると思いますか（複数回答可）



Q23.本実証のルート以外であなたが走ってほしいルート（スポット）はありますか。(自由記述)

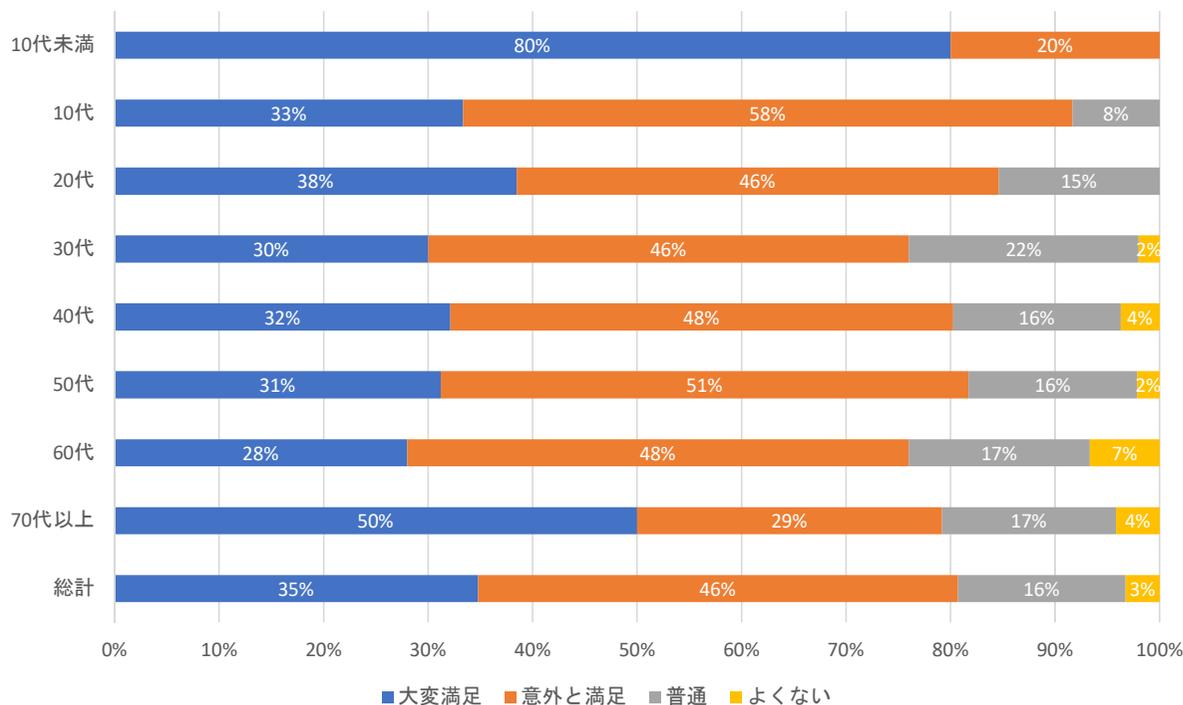
- ①和歌山市駅を含むルート（76）
- ②和歌浦を含むルート（29）
- ③日本赤十字社和歌山医療センター、和歌山県立医科大学病院等病院（20）
- ④雑賀崎（10）
- ⑤紀三井寺（8）
- ⑥マリーナシティ（8）
- ⑦加太（7）
- ⑧ふじと台（6）
- ⑨その他（ぶらくり丁、和歌山県庁前、イオンモール和歌山、河北地域、国体道路、狐島、海南駅等）

利用区間詳細（Q6乗車バス停×Q7降車バス停）

乗車	降車	人数	備考
JR和歌山駅	和歌山城公園前	64	
	岡公園前	16	
	JR和歌山駅	210	
和歌山城公園前	和歌山城公園前	3	関係者試乗使用ルート
	岡公園前	19	
	JR和歌山駅	36	
岡公園前	JR和歌山駅	20	

⇒利用者が最も多い区間はJR和歌山駅～JR和歌山駅間、次点はJR和歌山駅～和歌山城公園前。
JR和歌山駅へのアクセスのニーズが多いと想定される。

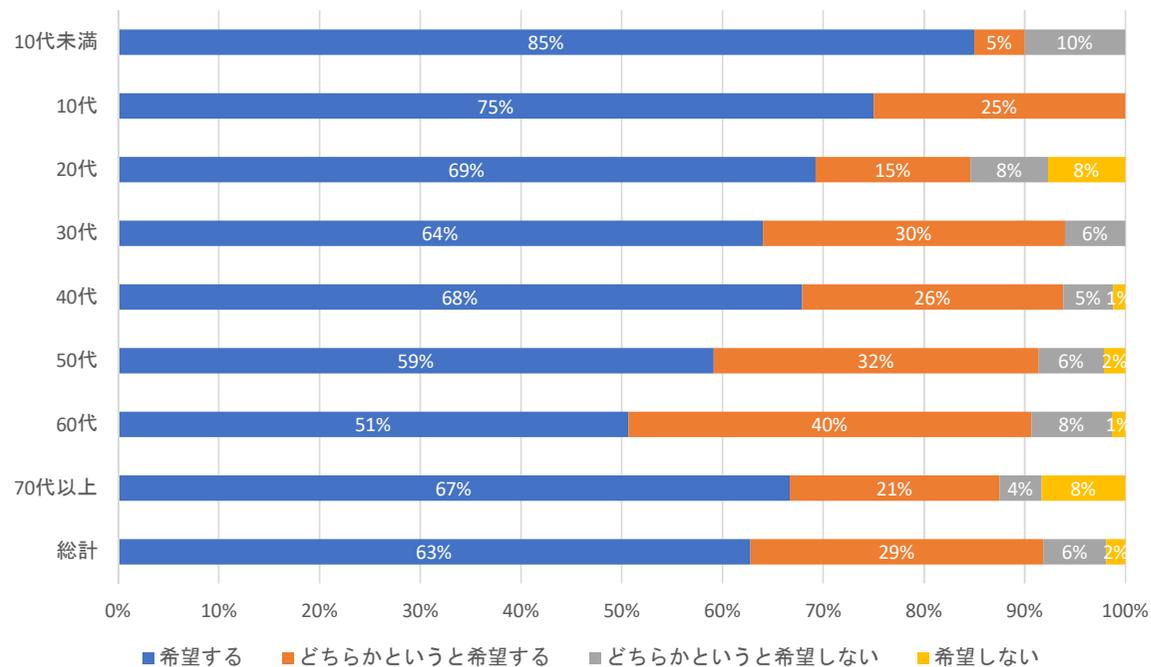
年代ごとのバスの乗りごごちの満足度（Q2回答者年齢×Q10乗りごごち）



	大変満足	意外と満足	普通	よくない	総計
10代未満	16	4	0	0	20
10代	4	7	1	0	12
20代	5	6	2	0	13
30代	15	23	11	1	50
40代	26	39	13	3	81
50代	29	47	15	2	93
60代	21	36	13	5	75
70代以上	12	7	4	1	24
総計	128	169	59	12	368

⇒総計で80.7%の試乗者より、乗りごごちについて「大変満足」「意外と満足」の評価をいただき、年代間での大きな差は見られなかった。「よくない」と回答した人の中で、後述の設問にて「座席の幅の狭さ」「ブレーキがきつく感じた」との回答があり、原因と考えられる。

年代ごとの再度利用意向（Q2回答者年齢×Q14再度利用意向）



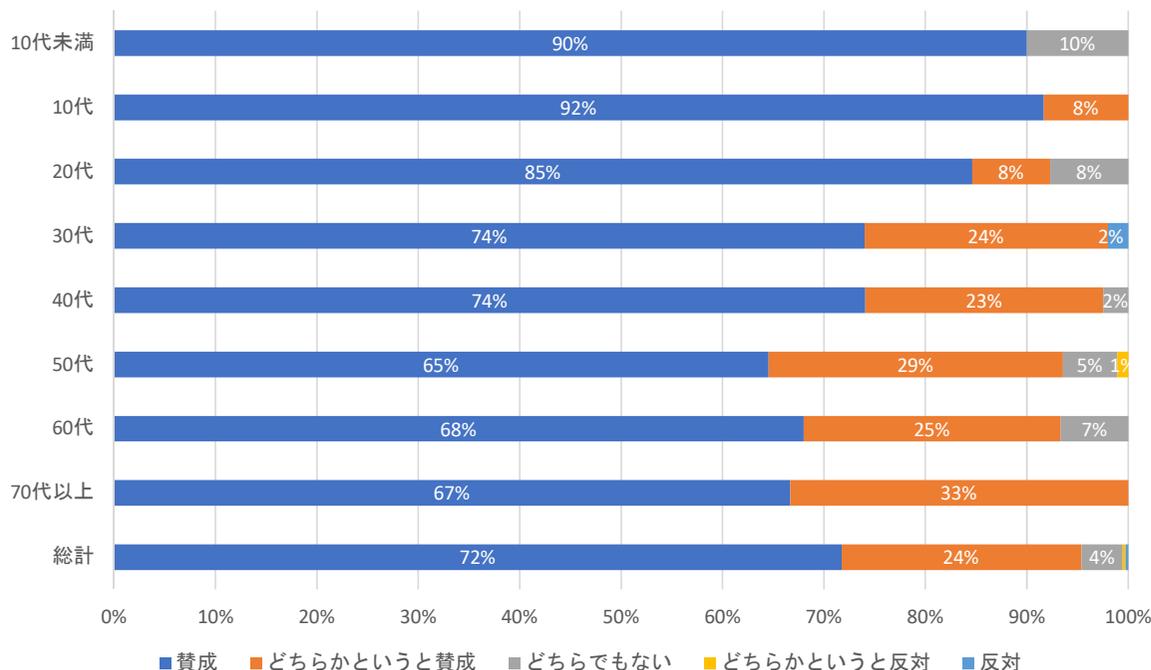
	希望する	どちらかという都希望する	どちらかという都希望しない	希望しない	総計
10代未満	17	1	2	0	20
10代	9	3	0	0	12
20代	9	2	1	1	13
30代	32	15	3	0	50
40代	55	21	4	1	81
50代	55	30	6	2	93
60代	38	30	6	1	75
70代以上	16	5	1	2	24
総計	231	107	23	7	368

⇒総計で92.6%の試乗者より、再度利用を希望するとの回答結果であった。

比較的使用意向が高い～40代までの希望をしない理由はほとんどが「ほかの交通手段のほうが便利/早い」であった。

50代～70代以上の希望しない理由は「ほかの交通手段のほうが便利/早い」の次点で「希望する停留所がない」の回答も多く、差異があった。

年代ごとの市内運行への賛同率（Q2回答者年齢×Q20自動運転バスの市内運行への賛否）



	賛成	どちらかという と賛成	どちらでもない	どちらかという と反対	反対	総計
10代未満	18	0	2	0	0	20
10代	11	1	0	0	0	12
20代	11	1	1	0	0	13
30代	37	12	0	0	1	50
40代	60	19	2	0	0	81
50代	60	27	5	1	0	93
60代	51	19	5	0	0	75
70代以上	16	8	0	0	0	24
総計	264	87	15	1	1	368

⇒総計で95.3%の高水準で、試乗者より自動運転バスの市内運行について「賛成」「どちらかというと賛成」の回答があった。

後述の設問より、「賛成」「どちらかというと賛成」の回答者の多くは移動の利便性向上と公共交通機関の利用増加はメリットであるが、渋滞リスクがデメリットであるとする意見が多かった。

「どちらでもない」「どちらかというと反対」「反対」の回答者は、環境負荷の軽減は自動運転バス普及のメリットであるが、高コストや渋滞リスクがデメリットであるとする意見が多かった。